

令和6（2024）年度 麻布大学卒業時調査：卒業年次学生の満足度・成長実感度について

1. 調査目的

卒業年次学生を対象として、学士課程全体を通じた満足度及び成長実感度を把握し教育の質向上を図る。

2. 調査対象

全学科の最高年次に在籍する卒業見込みの学部学生（以下「卒業年次学生」という。）

（卒業年次学生：獣医学科は6年次学生、その他の学科は4年次学生）

3. 調査期間

令和6（2024）年11月1日（金）～令和6（2024）年11月29日（金）

4. 調査方法

WEB上のアンケートフォーム（Google Forms）を使用した記名調査。

大学IRコンソーシアム「2024年度学生調査」の共通調査項目を使用。

5. 回答状況

年度	令和6年3月 卒業生数(人)※	回答数(人)	回答率(%)
令和6（2024）	433	388	89.6%

※調査時点で卒業年次学生だった者を対象とした(休学者・退学者除く)。

6. 調査項目

▷『満足度』に関する質問事項

- (1) 【設問】 問12_あなたは、本学の教育内容・環境に
どれくらい満足していますか。

A	専門教育あるいは所属学科の授業
B	2年次生または3年次生を対象としたゼミ（演習） などの教育内容
C	授業の全体的な質
D	日常生活と授業内容との関連
E	将来の仕事と授業内容の結びつき
F	教員と話をする機会
G	学習支援や個別の学習指導
H	他の学生と話をする機会
I	大学のなかでの学生同士の一体感
J	多様な考え方を認め合う雰囲気
K	大学での経験全般について
L	1つの授業を履修する学生数

- (2) 【設問】 問13_あなたは、本学の設備や学生支援制度に
どの程度満足していますか。

A	図書館の設備（蔵書やレファレンスサービス）
B	実験室の設備や器具
C	コンピュータの施設や設備
D	コンピュータの訓練や援助
F	奨学金などの学費援助の制度
G	健康・保健サービス (心身の健康に関わる問題についての診療や相談)
H	レクリエーション施設（ジムの設備など）
I	キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）

【回答】 1) とても不満 2) 不満 3) どちらでもない 4) 満足 5) とても満足【単一選択】

▷『成長実感度』に関する質問事項

- 【設問】 問19（問22）_あなたは、入学後、自分で「成長した」と思いますか。【本学独自設問】

【回答】 1) そう思わない 2) どちらかといえばそう思わない 3) どちらかといえばそう思う 4) そう思う【単一選択】

7. まとめ

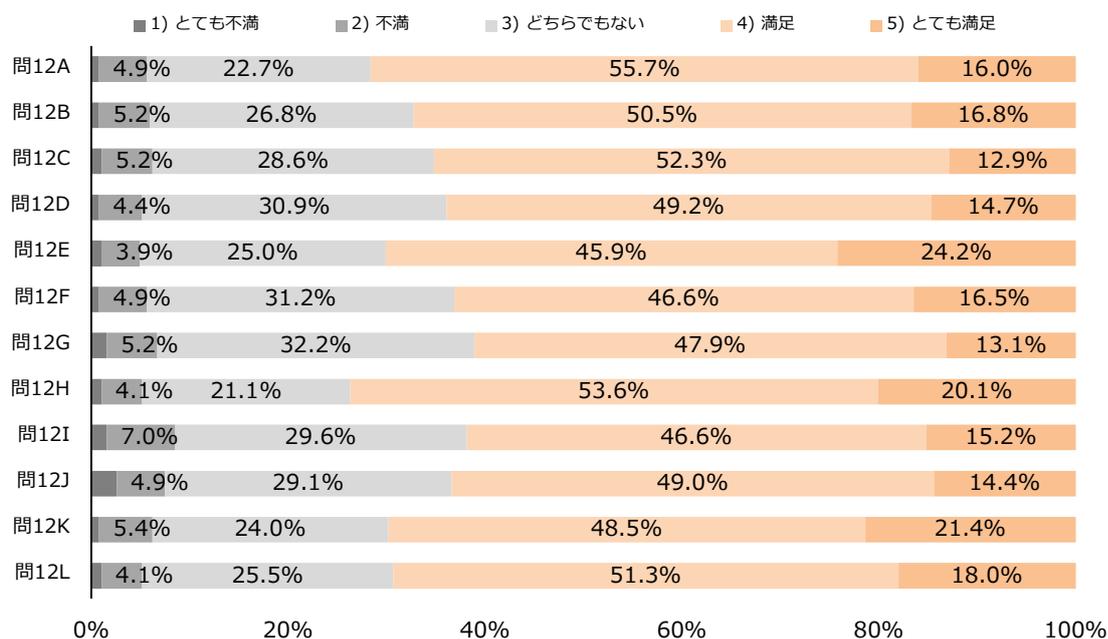
▷ 『満足度』に関する質問事項

(1) 『満足度-教育内容・環境-』 (*満足度=「4) 満足」+「5) とても満足」の合計)

- ▶ 2024年度実績では、大学全体において、全項目（A~L）で理系大学（大学IRコンソーシアム加盟大学、卒業年次学生）を上回った。
- ▶ 特に「専門教育あるいは所属学科の授業（A）」「将来の仕事との結びつき（E）」「他の学生と話をする機会（H）」は比較的高く、本学の強みともいえる。「大学での経験全般（K）」については高水準であったものの近年低下傾向にある。

教育内容・環境の満足度（問12）	大学全体			理系大学 （卒業年次）		
	2022	2023	2024	2022	2023	2024
A 専門教育あるいは所属学科の授業	75%	75%	72%	65%	64%	66%
B 2年次生または3年次生を対象としたゼミ（演習）などの教育内容	65%	67%	67%	59%	61%	62%
C 授業の全体的な質	64%	65%	65%	57%	60%	61%
D 日常生活と授業内容との関連	65%	65%	64%	54%	57%	59%
E 将来の仕事と授業内容の結びつき	71%	71%	70%	63%	65%	65%
F 教員と話をする機会	65%	60%	63%	52%	54%	56%
G 学習支援や個別の学習指導	59%	53%	61%	47%	49%	52%
H 他の学生と話をする機会	74%	69%	74%	64%	62%	64%
I 大学のなかでの学生同士の一体感	61%	60%	62%	49%	49%	52%
J 多様な考え方を認め合う雰囲気	64%	62%	63%	55%	58%	57%
K 大学での経験全般について	75%	72%	70%	66%	65%	67%
L 1つの授業を履修する学生数	74%	70%	69%	60%	60%	62%

2024年度 回答内訳



7. まとめ

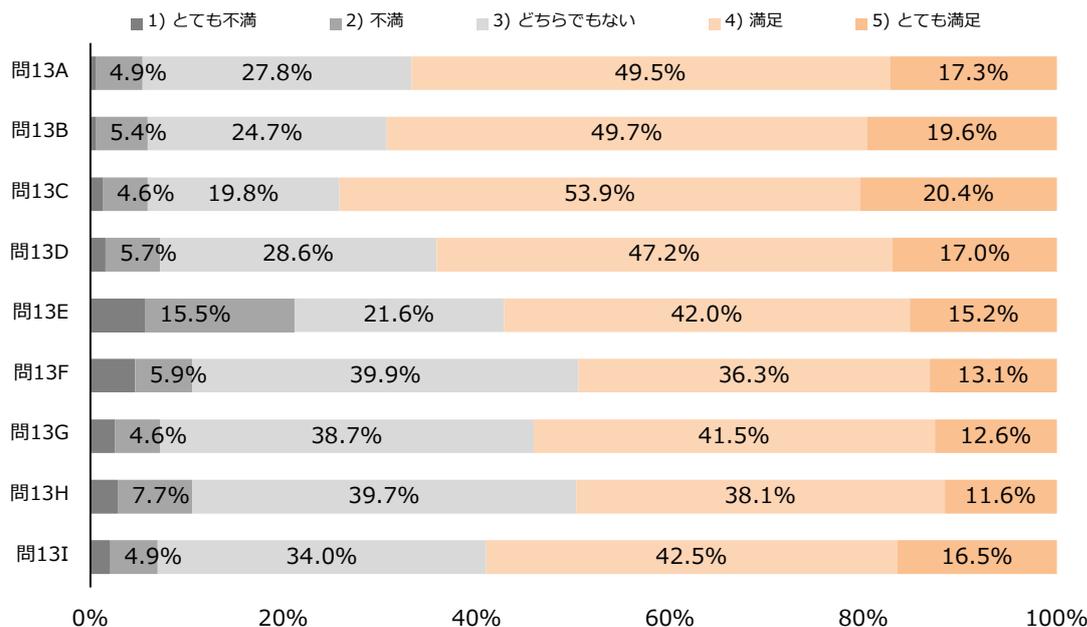
▷ 『満足度』に関する質問事項

(2) 『満足度-設備・学生支援制度-』 (*満足度=「4」満足+「5」とても満足)の合計

- ▶ 2024年度実績では、大学全体において、全項目（A～L）で理系大学（大学IRコンソーシアム加盟大学：卒業年次学生）を上回った。
- ▶ 特に「図実験室の設備や器具（B）」「コンピュータの施設や設備（C）」は比較的高く、本学の強みといえる。一方で、「奨学金などの学費援助の制度（F）」「レクリエーション施設（H）」は依然として低水準である。

設備・学生支援制度の満足度（問13）	大学全体			理系大学 （卒業年次）		
	2022	2023	2024	2022	2023	2024
A 図書館の設備 （蔵書やレファレンスサービス）	73%	63%	67%	62%	58%	61%
B 実験室の設備や器具	75%	71%	69%	63%	60%	62%
C コンピュータの施設や設備	76%	68%	74%	62%	60%	62%
D コンピュータの訓練や援助	67%	57%	64%	54%	55%	57%
E インターネットの使いやすさ	65%	54%	57%	54%	55%	56%
F 奨学金などの学費援助の制度	53%	45%	49%	42%	45%	45%
G 健康・保健サービス （心身の健康に関わる問題についての診療や相談）	62%	55%	54%	47%	50%	50%
H レクリエーション施設（ジムの設備など）	53%	44%	50%	36%	38%	40%
I キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）	57%	55%	59%	48%	51%	50%

2024年度 回答内訳



7. まとめ

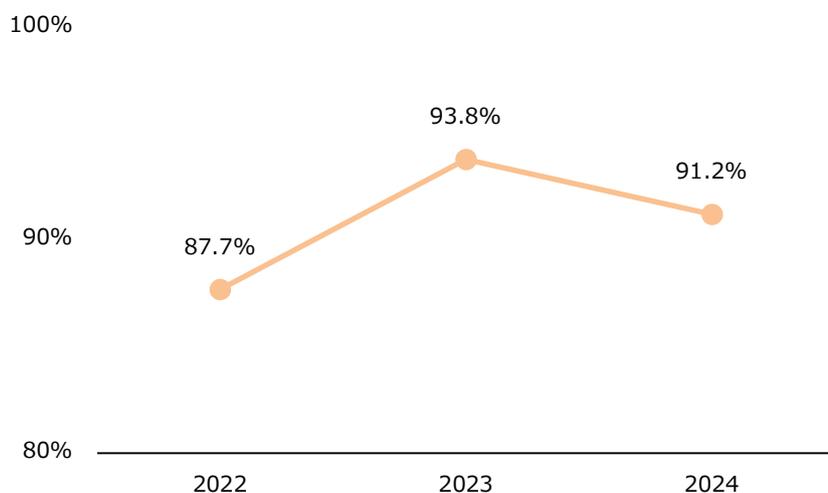
▷ 『成長実感度』に関する質問事項

③ 『成長実感度』 (*成長実感度=「3) どちらかといえばそう思う」+「4) そう思う」の合計)

▶2024年度実績では、大学全体が前年度から低下しているが、2023年度から90%前後を推移しており、依然として高水準である。各学科においては、環境科学科のみ前年度から増加した。

▶2024年度実績では、全ての学科がいずれも85%以上と高水準であり、本学学生の成長実感度は全体的に高いといえる。

	2022	2023	2024	対前年比 (ポイント)
成長実感度 (*)	87.7%	93.8%	91.2%	▲2.6



2024年度 回答内訳

